



学校だより

# なかお

第253号

平成19年4月5日  
横浜市立中尾小学校  
発行者 中島 博

## 新年度にあたって

校長 中島 博

ご入学ご進級、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

新しい年度を迎え、お子様たちも新しい友達や先生との出会いで期待に胸をふくらませていることと思います。今年度は、57名の1年生が入学し、全児童419名で新学期を迎えます。私たち教職員26名も期待に応えるため力を合わせ努めていきます。どうぞよろしく願いいたします。

3月の修了日の下校時のことです。地域を回っているときに児童の安全を見守って下さっている方に声をかけられました。「校長先生、見てください。こんな所につくしが出ているんですよ。この子達が見つめて教えてくれました。」駐車場入り口のかたわらにかわいいつくしんぼうが2本出ていました。そばに高学年くらいの男の子たちがいます。「よくこんな所に生えているのを見つけましたよね。子どもは私たちが気づかないこともよく見ているんですね。」とご婦人は感心されていました。地域の方と子どもたちがこんな語らいがなされているのを見て、春の陽の暖かさ同様、私の心も温かくなりました。

さて、年度初めに当たり、今年度本校の教育活動で力を入れていく内容についてお知らせいたします。3年先までを見据えた「中尾小学校中期運営プラン」（ホームページをご覧ください）の1年次となる19年度は次のように重点を掛けていきます。

- ① **な** かよく （ふれあいを大事にする子）
- ② **か** がやいて （自分らしさや自分の可能性を高める子）
- ③ **お** もいやりのある子 （互いの良さや違いを認めあえる子）

上記は、「子どもに示す目標」で知・徳・体が調和を持って育まれるように表しています。

「なかよく」は、ふれあいです。自然や地域の方々とのふれあいや違う学年とのふれあいを重視した活動を行っていきます。自然や様々な年齢の人に接することで体験を豊かにし、思いやりを育てていきます。

「かがやいて」は、学力とからだの育ちです。昨年に引き続き総ての学習の基礎となる国語を重視し、言葉への関心や話し合いの力を高めていきます。自分の思いや考えを伝えるだけでなく、相手の思いや考えを受け止めて適切な話ができるようにしていきます。また縄跳びや持久走を引き続き行うことと歯の健康について家庭と協力して関心を高めていきます。

「おもいやり」のある子は、生活の規範です。社会生活をする上で欠かせないあいさつや返事ができ、「ありがとう」という感謝の気持ちが持てるようにしていきます。

このほかに朝の読書の充実や3、4、5年生の算数の少人数指導、カウンセラーの井田先生による教育相談も昨年に引き続き行っていきます。読書、ふれあい、栽培などの活動は昨年の学校評価をふまえ、活動の様子がわかるよう適時お便りでお伝えします。

以下お知らせとお願いです。4月中旬よりプールの漏水工事を行います。7月中旬までかかる予定ですので、残念ですが夏休み前の水泳学習はできません。その代わりに9月初旬に行う予定です。また本年が本校の創立30周年になります。スポーツフェスタやふれあい作品展などもそれにふさわしい内容にしていきたいと考えています。11月17日（土）には式典及び祝賀会をおこないます。地域・保護者の皆様のお力添えをどうぞよろしく願いいたします。また児童の安全の見守りについても引き続きよろしくお願い申し上げます。